

経営デザインシート(全社用)

【株式会社コプロス】

自社の目的・特徴

建設業という枠にとらわれず、常に時代の変化に目を向け
全社一体となり、『**素敵環境の未来**』を構築する。

経営方針

変化し続けることが成長であり、留まることは退歩である。
身の回りの僅かなものでも整理整頓出来ないかという目を常に持つ
ことで、2025年までに山口県No.1建設業となる。



主要な資源

- 現場の施工管理をするにあたって経験豊富なスタッフ
- いかなる状況においても立坑を構築しきるための技術力
- 社内管理システム

知財：
大口客ケーシング
立坑構築に関する特許

事業ポートフォリオ

- ①公共工事の元請事業(下関)
- ②立坑構築専門の下請事業
- ③立坑技術の応用開発部門
(バイオマス事業)
- ④建設機械製造部門

自社の強み
元請事業による現場の課題
および解決ノウハウを実体
験することで、下請事業・
機械開発における提案力に
つなげられている

提供してきた価値

- 作業現場にとっての
【素敵環境】の実現
- ・手戻り作業、工数の削減
 - ・工事点数への貢献
 - ・確実な施工への安心感

提供先から得てきたもの

- ・難現場を解決するための
ノウハウ
- ・多数の現場で得られた
データ

全社課題(弱み)

- ・出張工事人材の負担増
- ・作業スタッフの高齢化、
後継スタッフの不足

これまでの外部環境

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------|
| +要素
大手が参入しにくい規模
の市場(年間100億円程度) | -要素
・業界のイメージ低下
・人材不足 |
|--------------------------------------|----------------------------|

主要な資源

- 「これまで」+
- ・AI/ICT開発技術
 - ・省人化施工に関する
ソフトウェア開発力
 - ・大学・企業との連携
 - ・難現場を解決する
ノウハウ
 - ・新技術の施工を担う
人材
- 知財：
・省人化施工に関
する特許

事業ポートフォリオ

- ①公共工事の元請事業(下関)
 - ②立坑構築専門の下請事業
 - ③立坑技術の応用開発部門
(バイオマス事業)
 - ④建設機械製造部門
- +
- ⑤ソフトウェア開発部門
※立坑構築機の遠隔操作、自動
操作の実現

自社の強み
「これまで」+
省人化施工・機械施工によ
る高生産性体質
(⇒競争力もあがる)

提供する価値

- 作業スタッフにとっての
【素敵環境】の実現
- ・安全で効率のよい働き方
・出張の負担軽減
⇒(間接的に、業界イメージの改善にも
寄与)
- 施工可能時間縮減に直面する顧客へ
の貢献

提供先から得るもの

- ・顧客から：高生産性にとまなう
高い競争力により受注依頼の
増加、省人化の高度化に必要な
データや要素
- ・業界から：建設業界における
働き方改革先駆者としての地位
機会・採用候補者：コプロスへ
の就業意思

「これから」の姿への移行のための戦略

これからの外部環境

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| +要素
・AI/ICT技術の
オープン化 | -要素
・人材不足
・施工可能時間
の縮減 |
|----------------------------|--------------------------------|

移行のための課題

- ・AI/ICT技術開発のノウハウの強化
- ・新技術の施工を担う人材の教育

必要な資源

- ・AI/ICT開発技術
- ・新技術施工を
担う人材

知財：
・省人化施工に関
する特許

解決策

- ①AI/ICT技術開発のノウハウの強化
・AI開発企業/研究大学との協力体制の構築
・ICT施工可能な機械へ改良を加えるために、現在の建設業機械共同開発企業
との協力体制の強化
- ②新技術の施工を担う人材の教育
・新規開発に向けたデータ取得のためのスタッフ教育

これまで

これから